

兵庫教区



仏婦手帳

2026

2026
年版

¥600 (税込み)

「2026年版仏婦手帳」は、月ごとのカレンダーから始まり、心温まるご法話、お仏壇のお飾り、
仏婦活動の紹介、本願寺や神戸別院の法要行事など、充実の内容でお届けします。
み教えと共に歩む素敵な一日を始めるきっかけに、ぜひ手に取ってみませんか。
心よりお待ちしております。

【お届 け】受付後一週間程度でお届けいたします（送料着払い）

【お支払い】お届けに併せ振込用紙を同封します（振込手数料注文者様ご負担）

ネット注文



<https://x.gd/2026TECHO>

郵送・FAX注文

(FAX: 078-341-8526)

ふりがな
お 名 前

送 付 先 (〒 -)

電話番号 (- -)

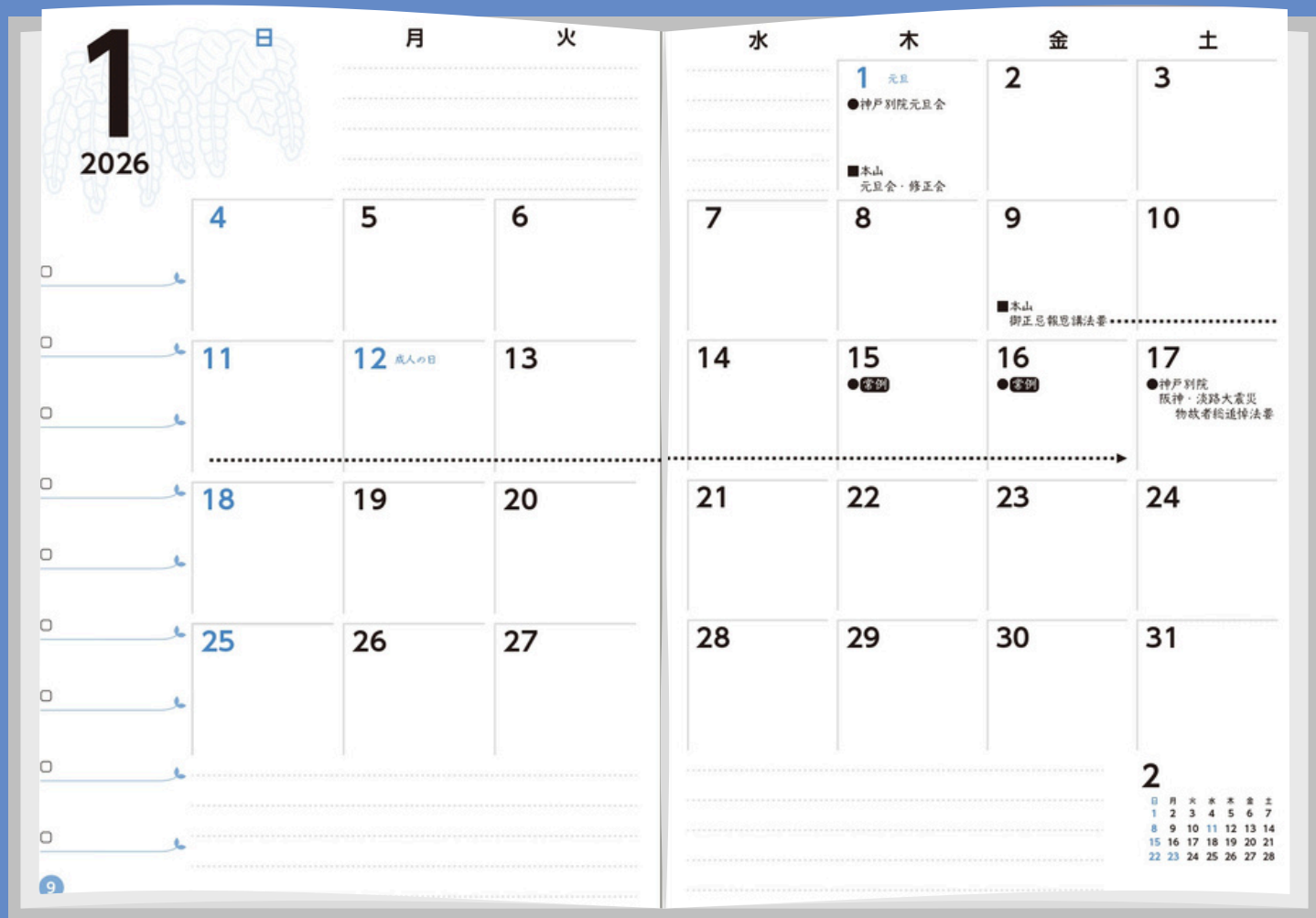
冊 数 _____ 冊

兵庫教区仏教婦人会連盟

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通8-1-1
TEL: 078-341-5949 Mail: hyogobuppu@gmail.com

裏面へ↓

月間カレンダー



仏婦活動の紹介

ダーナ できることから
はじめよう。

ダーナとは仏教語で「布施」(ほし)のことです。

仏教婦人会総連盟では
「慈しみのこころ」「支えあうこころ」「助け合うこころ」を
実践する「ダーナ活動」を推進しています。

【ダーナのはじまり】

1965(昭和40)年5月に、第2回世界仏教婦人会大会
が東京で開催されました。このとき「慈悲の心で平和を」がテーマで
このテーマを具体的に実行するために「布施の日」が
設けられました。物心両面からの布施を行い、この日に納め
た金額を「ダーナ」として、関西地区の社会福祉の
ために寄付することと決議されました。この決定を
「ダーナ」を定めたこととしました。

【活動の起こり】

2月には、「仏教婦人会連合本部」と称していた時代、本部
九條武子様のご往生の月にあたります。武子様の
特にお知らせしているのは、関東大震災の際、社会福祉の
ために胸に刻み、戦力ながらもご遺志を受け
ダーナの活動は2月がスタートとなりました。

【だれにでもできるタ

ダーナとは仏教語で「布施」(ほし)のことです。
法 施(真実の仏法を伝え広める)
財 施(金品を分かち合う)
無 畏 施(恐れを除き、勇気と勇気を分ける)
無 財 施(思いやり、ささあうこころ)
などに分かれます。

なかでも無財の七施は、いつでも、どこでも、
だれでも、自分のできる範囲で実践できるもので、
思いやりのある生き方を示すものです。

【献金の配布先】

ダーナ献金は、目的に応じて国内外の様々な活動にお届けしています。

個人	お寺 僧 教務所	単位会
↓		
仏教婦人会総連盟		
↓		
- 人権擁護活動への支援 - ユニセフ(国連児童基金)指定寄付 - 災害復興活動への支援金 - 国内外への災害見舞金	- 貧困の克服に向けて取り組む - ビハラー活動への参加 - 教育・環境保護活動への支援 - 宗門内外の社会福祉事業への支援	など

機関誌「めぐみ」のご案内

「めぐみ」は、仏教婦人会第1回総会での
「全国の会員が輪を広げてゆけるような
機関誌がほしい」との願いをうけ、
1952(昭和27)年4月の創刊以来、
発行されている機関誌です。

「めぐみ」の由来は、九條武子様のご著書
「無憂集」の中に、「先と離れて生き得ない
私たちであるところに、他方趣向の
めぐみが得られる。先のなかに生くる者
は、最も思われた者である」とある
ところからつけられました。

購読料 年間 1,200円(送料含む)
年4回発行(6月・9月・12月・3月)
仏教婦人会総連盟事務局へ電話ください
☎ 075-371-5181(本願寺代表番号)

心温まるご法話

朝戸臣統 先生(仏婦総連盟講師)

ご 法 話

いただきます！

家庭でご飯を食べるとき、みんなでそろって「いた
だきます」と合掌してからご飯をいただく方であって
も、レストランで食事をする際にはあまり「いただき
ます」と言われません。

一つには、他人の前で声を出すことが恥ずかしい、
という考えがあります。

もう一つは、お金を払って食べているのだから、わが
ざ御礼を言う必要はない、という考えがあるようです。

しかし、一番大切なことは、私が生きるために、食
事となってくれた多くのいのちに対して、感謝の気持
ちを表すことなのです。

私の食べ物となった動物や植物が、もししゃべること
ができれば、私にはこんなふうに聞こえてくるかも
知れません。

「私は今、ちょうど食べ頃になったようです。あな
たのいのちがこれからも続いていくために、私の命を
捧げて、あなたの食べ物となります。どうかこの私の
いのちをいただいて、明日への活力としてください。
あなたのいのちに繋がるのが、とてもうれしく、尊
いことだと思います。ありがとうございます。」